

統合開発環境CS+ ご使用上のお願い

統合開発環境CS+の使用上の注意事項を連絡します。

- ビルドが成功してもバッチビルドエラーを表示する注意事項

1. ビルドが成功してもバッチビルドエラーを表示する注意事項

1.1 該当製品

- RH850ファミリ用Cコンパイラパッケージ(統合開発環境つき)
- RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (統合開発環境つき)
- RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ(統合開発環境つき)
- 無償評価版CS+ for CC

上記のうち、CS+ for CC 共通部分がV3.02.00およびV3.03.00である製品

バージョンの確認方法は、以下のURLからご参照ください。

https://www.renesas.com/cubesuite+_ver

1.2 内容

バッチビルドは複数のビルドモードをまとめてビルドする機能ですが、個々のビルドが成功していてもバッチビルドでエラーと表示する場合があります。

なお、個々のビルドが成功していれば、出力したオブジェクトに影響はありません。

対象マイコン:

- RL78ファミリ
- RXファミリ
- RH850ファミリ

1.3 回避策

以下の手順でPythonコンソールからバッチビルド相当のスクリプトを実行して

ください。

(1) Pythonコンソールが有効になっている事の確認

(1-1) [ツール]メニュー[プラグインの管理]を選択します。

(1-2) IronPythonコンソール・プラグインがチェックされていない場合は、
チェックして[OK]ボタンを押下します。

チェックされている場合は、[キャンセル]ボタンを押下します。

(2) スクリプトの作成

(2-1) [ファイル]メニューの[追加]→[新しいファイルを追加]を選択しま
す。

(2-2) [ファイル追加]ダイアログで[Pythonスクリプト・ファイル(*.py)]を
選択して、作成するスクリプト・ファイル名(例:batch_build.py)を
指定します。

(2-3) プロジェクトツリーに作成したスクリプト・ファイルが追加されま
す。

(3) スクリプトの記述

追加したスクリプト・ファイルを開き、build.ChangeBuildMode関数、
および build.All関数を使用して、バッチビルドの対象ビルドモードの
ビルドの実行を記述し保存します。

例: ビルドモードが"DefaultBuild"と"Debug"の2つある場合(注)

```
-----  
build.ChangeBuildMode("DefaultBuild")  
build.All(True,True)  
build.ChangeBuildMode("Debug")  
build.All(True,True)  
-----
```

注: 他にもビルドモードが存在する場合は、

build.ChangeBuildModeとbuild.Allを同じように追加してください。

(4) バッチビルドをスクリプトで実行

プロジェクト・ツリーで、作成したスクリプト・ファイル
(例: batch_build.py) を選択しコンテキスト・メニューの
[Pythonコンソールで実行する]を選択します。

1.4 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.